

【普及指導課題への反映状況等】

北部農と緑の総合事務所

- 管内市町と連携し、引き続きアカデミー修了生の就農支援を行うとともに、既就農者に対しては、農業経営を持続的に発展できるよう販路開拓につながるマッチング、簿記記帳の推進及び経営分析など個別の支援を行う。
- アカデミー受講生が、栽培関係以外の案件でも気軽に相談できる窓口として、SNS等による情報交換や実施年度以外の修了生との交流機会を設けることについて検討する。
- アカデミーの受講生になれなかった方たちに対しては、当管内の農業体験情報や大阪農業つなぐセンターで把握している他地域の就農関連の情報提供を検討する。

中部農と緑の総合事務所

- 枚方市のひらかた有機農産物アカデミー(以下、アカデミー)においても希望の多い半農半Xを地域農業の多様な担い手として位置づけ、アカデミーで指導するとともに、就農後についても巡回等で指導する。八尾市では特産品である「八尾えだまめ」等の担い手となる新規就農者の確保育成のため、篤農家や関係機関等と連携した農業塾を実施する。
- 正確な農家所得の把握は難しく、数値化できていないが、今後は販売額だけでなく、所得や物価上昇率を意識した経営指導を行う。
- 特産品である「大阪ぶどう」「八尾えだまめ」「八尾若ごぼう」については、農家や市、JA、市場、飲食関連企業等と連携したPRに取り組む。管内の農産物直売所や観光名所等のスポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施することで、より多くの来観者を中部管内に呼び込む。

南河内農と緑の総合事務所

- 普及指導事項対象者欄に「新規就農者」を記入
- 普及指導事項欄に「課題の明確化や目標ビジョンの設定」を記入
- 普及活動内容欄に「個別テーマ(予定)・労務管理(含人材育成、組織マネジメント)」を記入
- 今年度の目標欄に「(10名含新規1名)」を記入
- 売上要因の分析(コンサル効果)については、活動内容で反映していく予定

泉州農と緑の総合事務所

- 4Hクラブ員が主体的に農業体験やマルシェ等のクラブ活動を企画・実践できるよう、引き続き定例会等に参加し、クラブ員が自由に意見を出せる場づくりや情報提供、関係者との調整等必要な支援を行う。
- 担い手育成に向けて、巡回指導やプロジェクト活動(高温対策や新規品目導入等)等への継続的な支援により、青年農業者の栽培技術や経営管理能力の向上を図る。
- 青年農業者の連携強化に向けて、各4Hクラブへ府連や地区連等にかかる活動内容の情報提供や交流の働きかけを行うとともに、視察研修や情報交換会の実施により他地区の4Hクラブとの交流支援を行う。